

Ⅰ 研究テーマ及び研究計画

1 研究テーマ

「こころ からだ はずむ 柏っ子
～幼児の体力・運動能力の向上をめざして～」

【テーマ設定の理由】

社会環境や子どもの育ちの変化による幼児教育の今日的課題をもとに、現在の重要なテーマを設定した研究を教育研究所と柏市内全公私立幼稚園が共同で行い、柏市の幼児教育の充実と推進及び幼児教育関係教職員の力量と専門性の向上を図る。市内3～5歳の幼児の7割近くが市内幼稚園に在園していることから、市内全幼稚園と連携した研究体制で実態調査や課題解決に向けた取り組みを進めることは、就学以降の学びの基礎づくりにもなり、柏市の幼児教育の充実と推進につながるものとする。

近年、子どもを取り巻く環境の変化が子どもの育ちにも影響を及ぼし、課題として指摘されていることの1つに運動能力の低下があげられている。また、平成20年7月に文部科学省が策定した『教育振興基本計画』の「特に重点的に取り組むべき事項」として、「豊かな心と健やかな体の育成」の中で「子どもの体力について昭和60年頃の水準への回復をめざす」とある。

昨年度の小中学校の運動能力全国調査の結果を見ると、千葉県平均は全国平均より上回っているが、柏市平均は千葉県や全国平均より下回っている項目があることがわかった。幼児期は歩く・跳ぶ・投げる・つかまるなどの基本的な動きやバランス感覚が著しく発達する時期であり、幼児期の運動経験や運動量がそれ以降の運動能力や体力に大きく影響していく。そこで、柏市においても課題となっている「子どもの体力や運動能力の向上」のためには、幼児期から進んで体を動かし、運動することが好きになるようにしていくことが重要であるとする。

柏市内には幼稚園が34園（公立1園私立33園）あり、幼稚園教育要領を基本にした上で、それぞれが特色ある幼稚園教育に取り組んでいる。今年度から市内全幼稚園と連携した共同研究を推進するにあたり、幼稚園教育要領の5領域のねらい及び内容とかかわりの深いものが共同研究のテーマとしてふさわしいと考えた。5領域の1つめは「健康」であり、その3つのねらいの1つが「自分の体を十分に動かし、進んで運動しようとする」である。以上のようなことを踏まえて、本テーマを設定した。

2 研究目標

- 各園の園児の運動能力の現状を把握し、その結果を各園の保育に生かすことにより、一人一人の園児の体力や運動能力の向上を図るとともに、柏市全体の幼児の健やかな成長をめざす。
- 園児一人一人の体力や運動能力の向上を目指して、カリキュラムの見直しや環境設定の工夫、家庭との連携等の実践を通して保育の向上を図るとともに、柏市の幼児教育の充実を図る。

3 研究組織

共同研究推進委員会

○幼児教育に関する「共同研究」の推進役として、研究テーマに関する情報収集，研究目標の設定，研究方法や内容等の計画を行う。また，研究発表会の開催，研究報告書の発行等を行う。

《委員構成》

| | |
|--------|--------------------|
| 委員長 | 私立幼稚園協会会長 |
| 副委員長 | 柏市立教育研究所長 |
| | 私立幼稚園協会研究部長 |
| 委員（6名） | 私立幼稚園協会研究副部長 |
| | 私立幼稚園協会主任会（3名） |
| | 柏市立教育研究所幼児教育担当（2名） |
| 顧問 | 聖徳大学大学院准教授（体育学） |

共同研究協力員（各園1名ずつ，計34名）

- 市内公私立幼稚園34園から1人ずつ委嘱する。
- 「共同研究推進委員会」で協議したことをもとに，所属する園において中心になって共同研究を推進する。（研究テーマに基づいた実態調査，現状と課題の把握，課題解決に向けた実践及び実践報告のまとめ等）
- 共同研究推進委員はこれを兼ねることができる。

4 研究内容と方法

- ・1学期に市内全幼稚園で運動能力テストを実施し，柏市としてデータをまとめる。
- ・幼児の運動能力全国調査と比較し，柏市及び各園の現状と課題を明らかにする。結果のよかったものについても分析する。
- ・各園で，課題解決に向けた手だてを話し合い，実践する。
- ・今年度の調査結果と各園の実践例をまとめ，共同研究発表会を開催して報告する。

《研究の重点》

| 研究内容 | 研究方法 | 今年度の重点 |
|----------------------|------------|--------|
| 園児の実態把握 | 運動能力測定 | ◎ |
| | 個人調査票 | ◎ |
| | 家庭へのアンケート | ○ |
| 園の実態把握 | クラス担任調査票 | ◎ |
| | 園の環境調査票 | |
| 体力・運動能力の向上をめざした保育の充実 | カリキュラムの見直し | ○ |
| | 環境設定の見直し | ◎ |
| | 家庭との連携 | |

5 研究計画

- (1) **運動能力測定** ○測定期間 5月～6月中
○対象 年中・年長児の全員実施を原則とする。(園の実態で抽出児も可)
身体的理由等がある場合はできるものだけ測定。(種目別に平均)
- (2) **家庭調査** ○幼児教育研究協力員調査活動も体力や運動に関するものとする。
- (3) **結果報告** ○提出日 7月7日(水) 主任研修会
○提出物 ①「運動能力測定記録用紙」
②「クラス担任調査票」
③「運動能力測定の記録」
- (4) **全体集計** ○教育研究所で柏市全体の集計結果をまとめる。
○各園への報告 9月8日(水)の主任研修会
○柏市全体の集計結果と各園の実践報告様式を配布。
- (5) **園の実践** ○柏市全体の集計結果と課題から、各園の課題を明らかにする。
○園の課題をもとに、運動能力を高めるための手だてを考える。
○各園の実態に合った実践に取り組む。
- (6) **実践報告** ○各園の課題と実践をまとめ、推進委員会に報告する。
○提出期限 11月29日(月)
○研究推進委員会で、『柏市の集計結果と課題』『全園の課題と実践』をもとに、今年度の共同研究について考察。

6 研究報告

- 調査データや各園で取組んだ事例を研究のあゆみにまとめる。
- 共同研究発表会を開催する。幼児教育関係者だけでなく保護者や一般市民も対象とし、運動・体力・健康に関する講演も行う。2月17日 10:00 (アミュゼ柏クリスタルホール)

